

九州地方整備局事業評価監視委員会（平成13年度 第4回） 議事概要（速報）

日時 平成13年11月26日（月）13：00～16：00

場所 福岡市博多区 ホテルセントラータ博多 花筐の間（3階）

出席者

- ・委員 榑木委員長、石井副委員長、今村委員、大谷委員、小野委員、中川委員、林田委員
- ・整備局 江頭局長、渡辺副局長、杉山副局長、日原総務部長、熊谷企画部長、粕谷建政部長、森道路部長、竹内営繕部長、稲田用地部長 他

資料

- ・資料 - 1 議事次第
- ・資料 - 2 九州地方整備局事業評価監視委員会（平成13年度第4回）出席者名簿及び座席表
- ・資料 - 3 九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿
- ・資料 - 4 平成13年度第4回事業再評価（公園1事業、道路4事業）
- ・参考資料 - 1 九州地方整備局事業評価監視委員会規則及び運営要領
- ・参考資料 - 2 平成13年度第1、2、3回委員会議事概要
- ・参考資料 - 3 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領
- ・参考資料 - 4 建設省所管公共事業の事後評価基本方針（案）
- ・参考資料 - 5 平成13年度事後評価対象事業一覧表
- ・その他資料 国営吉野ヶ里歴史公園パソレット、出水阿久根道路パソレット、伊万里松浦道路パソレット、唐津伊万里パソレット、熊本宇土道路パソレット、道路費用対効果説明資料

議事

1. 九州地方整備局長 挨拶
2. 審議
 - (1) 委員長 挨拶
 - (2) 平成13年度第4回再評価審議
 - 1) 公園事業（1事業）
 - ・国営吉野ヶ里歴史公園
 - 対象事業の説明
 - 対象事業の審議
 - 公園事業についての意見とりまとめ
 - 2) 道路事業（4事業）
 - ・一般国道3号 南九州西回り自動車道 出水阿久根道路
 - ・一般国道497号 西九州自動車道 伊万里松浦道路
 - ・一般国道497号 西九州自動車道 唐津伊万里道路
 - ・一般国道57号 熊本天草幹線道路 熊本宇土道路
 - 対象事業の説明
 - 対象事業の審議
 - 道路事業についての意見とりまとめ
3. その他
 - ・平成13年度事後評価について
 - ・次回委員会開催予定について

主な審議結果

事務局より再評価対象事業（公園事業1事業、道路事業4事業）について説明し、審議を行った。

（１）公園事業

公園事業1事業については、審議の結果、対応方針（原案）どおり了承された。

- ・国営吉野ヶ里歴史公園 …… 継続

委員からの主な意見

- ・学術的に価値のあるものをどのように評価していくか、プロジェクトの内容によっては費用対効果分析（B/C）によらないことも考えられるので、今後十分検討してほしい。
- ・市民の参加等も視野に入れ、公園の整備、運営について検討を進めてもらいたい。

（２）道路事業

道路事業4事業については、審議の結果、対応方針（原案）どおり了承された。

- ・一般国道 3号 出水阿久根道路事業 …… 継続
- ・一般国道497号 伊万里松浦道路事業 …… 継続
- ・一般国道497号 唐津伊万里道路事業 …… 継続
- ・一般国道 57号 熊本宇土道路事業 …… 継続

委員からの主な意見

【全体について】

- ・全体計画(全体区間)とその部分区間との効果を明確にし、道路整備の必要性について十分説明し評価すること。
- ・事業に関して、メリットにあわせ、デメリットについても説明する工夫、わかりやすい資料の提供を図ること。

【出水阿久根道路について】

- ・計画地内に縄張りを持つツルについて十分に注意し、その対策を検討すること。

（３）その他

平成13年度事後評価について

平成13年度事後評価については、選定委員を選出のうえ対象事業(河川、道路、営繕、港湾各事業より1事業ずつ)を選定することとなった。

本委員会において石井副委員長が選定委員に選出され、次回委員会において対象事業の選定の報告が行なわれることとなった。

第5回委員会は、平成13年度12月4日（火）に開催する。

九州地方整備局事業評価監視委員会（平成13年度 第4回） 議事概要（議事録）

日時 平成13年11月26日（月）13:00～16:00

場所 福岡市博多区 ホテルセントラータ博多 花筐の間（3階）

委員 榑木委員長、石井副委員長、今村委員、大谷委員、小野委員、中川委員、林田委員

整備局 江頭局長、渡辺副局長、杉山副局長、日原総務部長、熊谷企画部長、粕谷建政部長、森道路部長、竹内営繕部長、稲田用地部長 他

資料

- ・資料 - 1 議事次第
- ・資料 - 2 九州地方整備局事業評価監視委員会（平成13年度第4回）出席者名簿及び座席表
- ・資料 - 3 九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿
- ・資料 - 4 平成13年度第4回事業再評価（公園1事業、道路4事業）
- ・参考資料 - 1 九州地方整備局事業評価監視委員会規則及び運営要領
- ・参考資料 - 2 平成13年度第1、2、3回委員会議事概要
- ・参考資料 - 3 国土交通省所管公共事業の再評価実施要領
- ・参考資料 - 4 建設省所管公共事業の事後評価基本方針（案）
- ・参考資料 - 5 平成13年度事後評価対象事業一覧表
- ・その他資料 国営吉野ヶ里歴史公園パソレット、出水阿久根道路パソレット、伊万里松浦道路パソレット、唐津伊万里パソレット、熊本宇土道路パソレット、道路費用対効果説明資料

議事

1. 九州地方整備局長 挨拶

2. 審議

(1) 委員長 挨拶

(2) 平成13年度第4回再評価審議

1) 公園事業（1事業）

・国営吉野ヶ里歴史公園

対象事業の説明

対象事業の審議

公園事業についての意見とりまとめ

2) 道路事業（4事業）

・一般国道 3号 南九州西回り自動車道 出水阿久根道路

・一般国道 497号 西九州自動車道 伊万里松浦道路

・一般国道 497号 西九州自動車道 唐津伊万里道路

・一般国道 57号 熊本天草幹線道路 熊本宇土道路

対象事業の説明

対象事業の審議

道路事業についての意見とりまとめ

3. その他

・平成13年度事後評価について

・次回委員会開催予定について

審議結果

事務局より再評価対象事業（公園事業1事業、道路事業4事業）について説明し、審議を行った。

（１）公園事業

公園事業1事業については、審議の結果、対応方針（原案）どおり了承された。
・国営吉野ヶ里歴史公園 …… 継続

委員からの主な意見

【整備のあり方について】

往時の姿を想像しながら吉野ヶ里遺跡の復元を行っていくことはよいが、利用を考えるあまり施設を作り過ぎてしまうことのないよう、注意してほしい。

現在ある社寺林をできるだけ残すということであるが、本来の吉野ヶ里の森林はどのようなものであったか、調査データがあれば教えてほしい。

(事務局)花粉や種子の分析、遺構にある木片の同定等の結果によれば、もともとの常緑広葉樹林に人為が加わった結果落葉広葉樹林が進入し、最終的にはススキ草原に落葉広葉樹が点在するといった状態であったものと思われる。本公園では、弥生時代の植生の復元を基本目標にしているため、公園計画地の北側区域において、このような景観をつくることを考えていきたい。

ススキ草原を維持するには、手間やコストがかかることから、心して行う必要がある。イメージとしては、古代の遺跡周辺の植生としては「宇佐神宮の森」、自然のままにできた社寺林である。そのような植生を残していくには、植物の遷移を見通して、植栽を行っていく必要がある。

日本文化の維持、復元にもつながる、全国的にみて非常に価値のあるものの維持・保存、復元をどのように行うべきか、多くの人々を啓蒙するためにどのようなものを整備したらよいかは、学識経験者等を交えて十分議論すべきである。

(事務局)そもそもの基本計画から、学識経験者等の意見を伺いつつ、策定を行ったところ。現在の建物復元も、考古学や民族学、生活史の専門家に指導を仰ぎながら行っており、今後とも発掘調査や研究の結果に基づき継続的に整備していくうえで、最新の知見や学識経験者等の意見を参考に慎重な整備を行っていくきたい。

このような歴史的なもの、遺跡のようなものについて、積極的に人に来てもらうのがよいか、或いはそれに関係なく、先々まで保存され、シンボリックな形で残っていくのがよいか、どのように考えているか。

(事務局)本公園の基本方針は、遺跡を保存し、その上に弥生時代を体感できる場所を作ることである。遺跡の保存については、最良の方法である埋め戻しで行っており、その上に往時そこにあったと思われる施設の復元等行っていくことを通じて、教科書にも載っている遺跡を実物大で体感でき、我が国の歴史に触れる、興味をもっていただく入口としての役割を果たしていきたい。

【運営について】

長く愛される公園とするために、管理運営について、行政が全てを行うのではなく、NPOのような市民協議会を設置し、そこに委託するようなことを検討してはどうか。

(事務局)本年の開園にあたり、公園の体験学習の応援をしていただくボランティア団体「ひみか応援隊」を立ち上げたところであり、このような試みを契機として、地域住民を巻き込むような管理運営は行っていきたい。一方で、行政としても、過去の失敗を含めある程度の経験を積み重ねてきたところであり、利用者の声も聞きつつ、プロとして円滑な管理運営に努めていきたい。

【費用対効果分析（B / C）について】

科学技術の将来の姿など、将来の想定しにくいことをアンケートにより予測する手法として「デルファイ法」というものがあるが、アンケートの回数を重ねることで、ばらつきのある回答が収斂していくとの結果が出てくる。今回の仮想市場法（CVM）もアンケートによる手法であるが、どのように行ったのか。

(事務局)アンケートについては、質問の順番や内容・言葉じりを変えたプレテストを2回行い、それによる回答への影響がないか統計的な検討を行ったうえで、本番のアンケートを作成、全国を対象に1回行った。B / Cについては、本番のアンケートのみのデータにより算出している。

<参考>

delphi法:(デルファイ法) / 専門家へのアンケート調査を反復して未来の予測をする手法
仮想市場法（CVM）については、論議があり、あまり評価されていないところ。
学術的に価値のある事業をどのように評価していくか、プロジェクトの内容によっては費用対効果（B / C）によらないことも考えられるので、今後十分検討してほしい。

(2) 道路事業

道路事業4事業については、審議の結果、対応方針（原案）どおり了承された。

- ・一般国道 3号 出水阿久根道路事業 . . . 継 続
- ・一般国道497号 伊万里松浦道路事業 . . . 継 続
- ・一般国道497号 唐津伊万里道路事業 . . . 継 続
- ・一般国道 57号 熊本宇土道路事業 . . . 継 続

委員からの主な意見

【費用対効果分析（B / C）について】

完成4車線に対して、暫定2車線で整備を行った場合のB / Cの算定の考え方について教えてほしい。

(事務局)暫定2車線で整備した場合、事業費は約7割程度で収まりそうだが、暫定供用なので設計速度に対し規制が生じるため、効果も若干マイナスになるのでB / Cはほぼ同じになるだろうと思われる。

伊万里松浦道路、唐津伊万里道路のB / Cの考え方について、西九州自動車道全体の投資効果、全体の一部を構成する各事業の必要性、部分的に移動する人の有無、この3つの概念が混在しているように思えるが、どのような概念に基づきB / Cを算出しているのか。

(事務局)西九州自動車道が全体が完成したとき、今回の区間だけなかった場合とあった場合のB / Cを算出している。

実際に物流量とか、拠点同志を結ぶ等の計画をはっきりと示さないと、道路個々を1つ1つ計算してもわかりづらい。

(事務局)今後の事案については、全体計画の投資効果等も参考値として資料に入れて

いくように努めたい。

【環境面について】

出水阿久根道路について、計画地内に縄張りを持つツルへの影響を十分に調査し、その影響をどのように軽減するか対策を検討すること。

【道路計画について】

高規格幹線道路について、国土交通省と日本道路公団それぞれが進める高速道路の事業の関係はどのようになっているのか。有料道路ととらえてよいのか。

(事務局)高規格幹線道路は全国で14,000km計画しており、その中で道路公団で施工するのが11,520kmで、残り2,480kmを一般国道の自動車専用道路として整備する。有料にするか、無料にするかは、事業毎によって活用面等を考慮して判断している。

道路計画のあり方として、道路の必要性についてよりわかりやすく説明し、また、B/Cについても全体区間と部分区間の効果を明確にし、それに合うような計算方式を今後検討していく必要がある。

熊本宇土道路に関して、長期的な整備を行っていくうえで、部分供用時でも大きな効果が得られるような整備の進め方を考えていくべきである。

【全体について】

時間短縮、費用節減、渋滞問題等それぞれ毎のデータが必ずしも詳細に示されていないので比較、議論等ができない。バックデータも付けて資料を作成してほしい。説明資料について、メリットだけでなくデメリットについても説明するようなわかりやすい資料の作成、提供を図ること。

(事務局)データがあるものについては、可能なものは整理し、メリット、デメリット両面わかるように工夫することも検討したい。

(3) その他

平成13年度事後評価について

平成13年度事後評価については、選定委員を選出のうえ対象事業(河川、道路、営繕、港湾各事業より1事業ずつ)を選定することとなった。

本委員会において石井副委員長が選定委員に選出され、次回委員会において対象事業の選定の報告が行なわれることとなった。

第5回委員会は、平成13年度12月4日(火)に開催する。

問い合わせ先 国土交通省九州地方整備局

企画部：TEL 092-471-6331(代表)

地方事業評価管理官 大竹 亮 (内線 2118)

企画部建設専門官 島本 卓三 (内線 3156)